

NPO法人日本平成村通信

No.232 発行:NPO 法人日本平成村 【Instagram】nihonheiseimura 【ホームページ】nihonheiseimura.org
【Mail】npo-heisei@ccn.aitai.ne.jp TEL:0575-49-2855 FAX:0575-49-3735



▲酒井能道さん画

見て、聞いて!一柳城の謎に迫る

5月17日(日)武儀生涯学習センターにて「一柳城 その謎に迫る」がNPO法人日本平成村と武儀事務所共催にて開かれました。午前中は9時出発と10時出発の2班に分かれ、合計37人の参加者が一柳城跡に向かいました。

一柳城跡では城の建てられていた場所の地形について、それぞれの場所がどのような役割を果たしていたかの説明がありました。さらに関高生による迫力の城攻め再現もあり、参加者はこの一柳城でどのような攻防が繰り広げられていたかを見ることが出来ました。

午後からは武儀生涯学習センター多目的ホールにて、基調報告とパネルディスカッションが行われ、約70名の来場がありました。



▲関高生による城攻め再現



▲城跡を見ながら解説を聞く参加者

関高生、関市や富加町の専門家や文化財専門職員が資料を示しながら解説を行いました。

パネルディスカッションではそれぞれが意見を交わしました。そこでは当時、この地域は物流や軍事において重要な役割をしていたことが語られました。



パネルディスカッションの様子(上・右)



自治会武儀支部あれこれ

優勝おめでとう!第68回関市消防安全競技大会



<分団長コメント>

日頃より、消防団の活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、去る6月7日に開催されました、関市消防安全競技大会において、武儀分団は皆様の温かいご声援とお力添えのおかげをもちまして、「優勝」を果たすことができました。

この結果に甘んじることなく、今後も地域の安全・安心を守るためにがんばりますので、引き続きご支援ご協力よろしくお願いいたします。

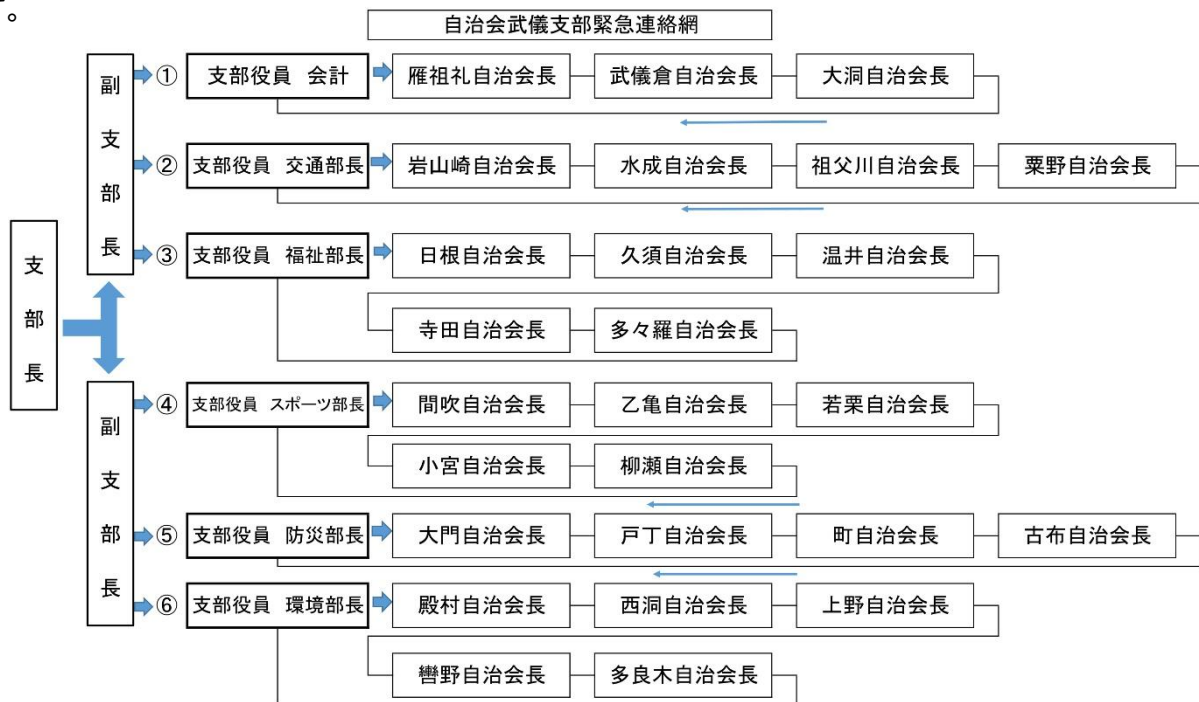
武儀分団長 和座容平



指揮:西部剛希
 1番員:丹羽駿介
 2番員:工藤京裕
 機関員:可見翔也
 吸管補助員:加藤悠史

豪雨災害が発生しやすい時期になりました

<備えあればうれいなし>自治会武儀支部では、8年前に発生した豪雨災害を教訓に、支部から各自治会長を対象に豪雨災害を想定した訓練を実施します、内容は「避難指示が発令されました、避難所を開設してください。」という指示を下記の緊急連絡網に従い、順次情報を各自治会長に伝達していくものです。



ささゆりの咲く里山よ、ふたたび

6月7日(日)、道の駅平成のふれあいドームにて「ササユリまつり」が開催されました。

平成6年の発足以来、ささゆりの保護育成に取り組んでいる「武儀ささゆり保護育成会」の皆さんによる、ささゆりの展示や、野草や山草等の販売が行われました。

また、ささゆりを増やす方法として、鱗片挿しによる講習会も開かれ、関市内外から集まった参加者が会員の指導を受けながら、鉢に鱗片挿しを行い、開花を待ちわびるように大切に持ち帰りました。

以前は、武儀のあちこちに見つけることができたささゆりですが、今では滅多にお目にかかれない希少な花となってしまいました。草刈りや間伐が行き届いた里山を好むため、環境のバロメーターとも言えるささゆり。清楚で可憐な花がいたるところで咲く風景を、ふたたび見たいものですね。



津保川中2年生17名 鮎の友釣り体験



6月11日(木)、武儀事務所下の津保川にて、津保川漁協の協力で毎年恒例の鮎の友釣り体験が行われました。

今年は17名が午前8時30分~11時15分まで漁協の方とマンツーマンで、鮎の友釣りを指導してもらいました。終了時間までに全部で21匹の鮎を釣り上げる事ができました。鮎は美味しい石の苔を知っているから「鮎は石で釣れ」と釣るコツを教えてくださいました。最後に漁協のご厚意で鮎の塩焼きとアマゴの唐揚げをご馳走になりました。

「鮎は
石で釣れ！」



武儀生涯学習センターで鮎釣り体験の写真を展示しています。

しあわせの気の森草刈りボランティア募集

日時:7月5日(日)午前6時~午前7時
場所:「しあわせの気の森」池前広場

NPO法人日本平成村産業経済委員会では、毎年道の駅平成の裏山にある「しあわせの気の森」の草刈りを行っています。

今年も行いたいと思いますので、多くの方の参加をお願いいたします。

関市シルバー人材センターから長年のシルバー人材の活用について感謝状とトロフィーをいただきました。



武儀生涯学習センターでは定期的な清掃と夜間の見回り・戸締りをシルバーさんをお願いしています。

むぎ図書館だより



「神去なあなあ日常」
三浦 しをん(著)

武儀地域の方によるオススメ本紹介 VOL. 12

主人公の平野勇氣は高校卒業と同時に三重県の山奥にある神去(かむさり)村で林業に従事することになります。

自然を相手に生きてきた人々に出会い、戸惑い、納得しながら成長していく姿が描かれています。

最後の場面は息を呑むほどの興奮、笑いが溢れてきました。

中之保在住 ペンネーム タラ 70代

7月休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
	休館日					
12	13	14	15	16	17	18
	休館日					
19	20	21	22	23	24	25
		休館日				
26	27	28	29	30	31	
	休館日					

今年度新規購入雑誌のご紹介

「kodomoe(コドモエ)」

絵本、知育、料理、家事、ハンドメイド、ヘルスケア、おでかけなど、親子時間をもっと楽しみたいママのための情報をお届け。(隔月刊)



課題図書の出借について

課題図書の本は貸出ルールが通常と異なりますのでご注意ください。

- 貸出期間: 1週間
- 予約取り置き: 3日間(予約は武儀分館の所蔵本のみが対象です)
- 返却: 必ず借りた図書館に直接返却して下さい

夏休み読書ビンゴ開催!

開催期間: 令和8年7月17日(金)～
8月30日(日)

読書ビンゴカードに書かれた本を借りてビンゴを揃えるとガチャガチャに挑戦できます!

誰でも挑戦できますので、お気軽にご参加ください♪

